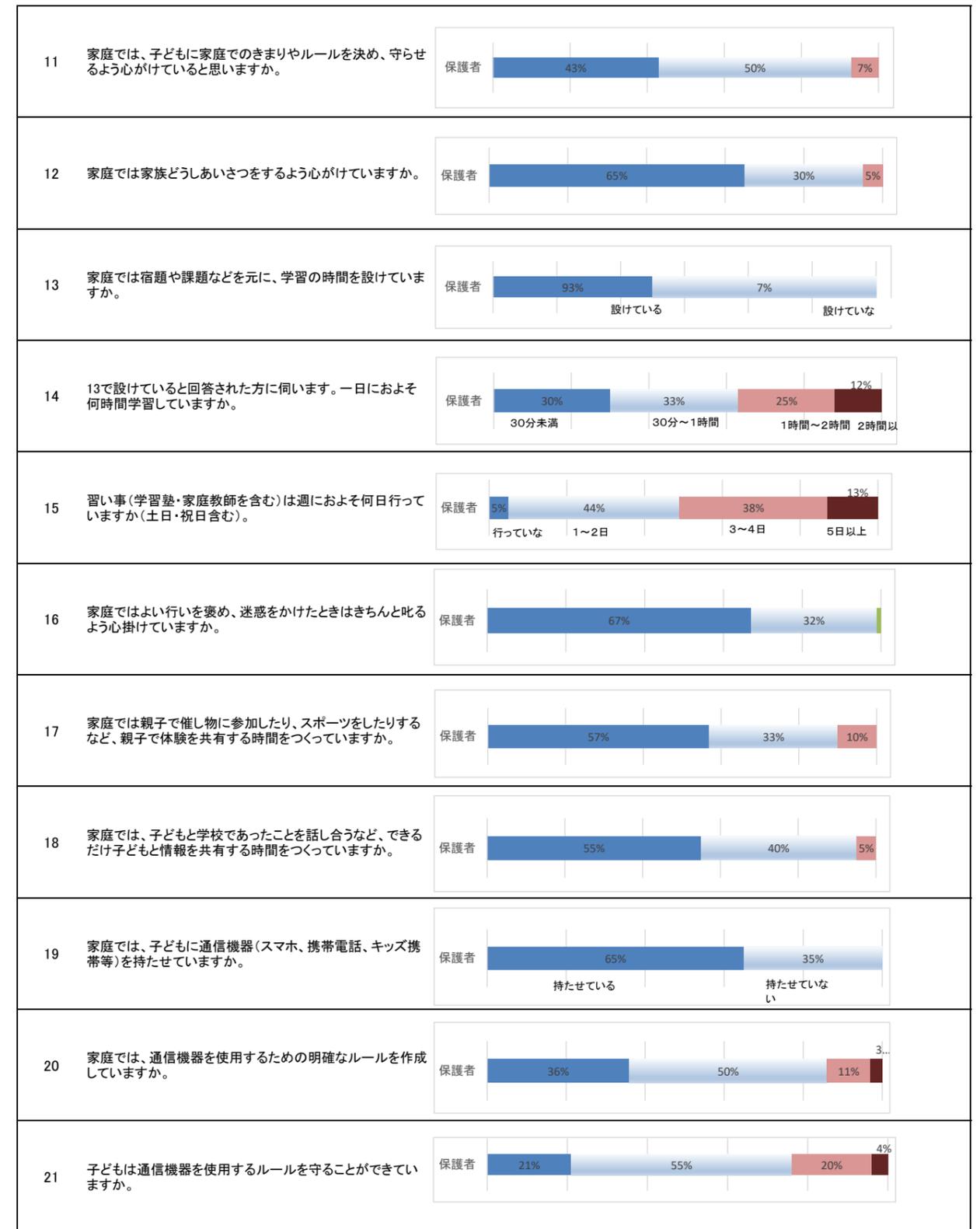
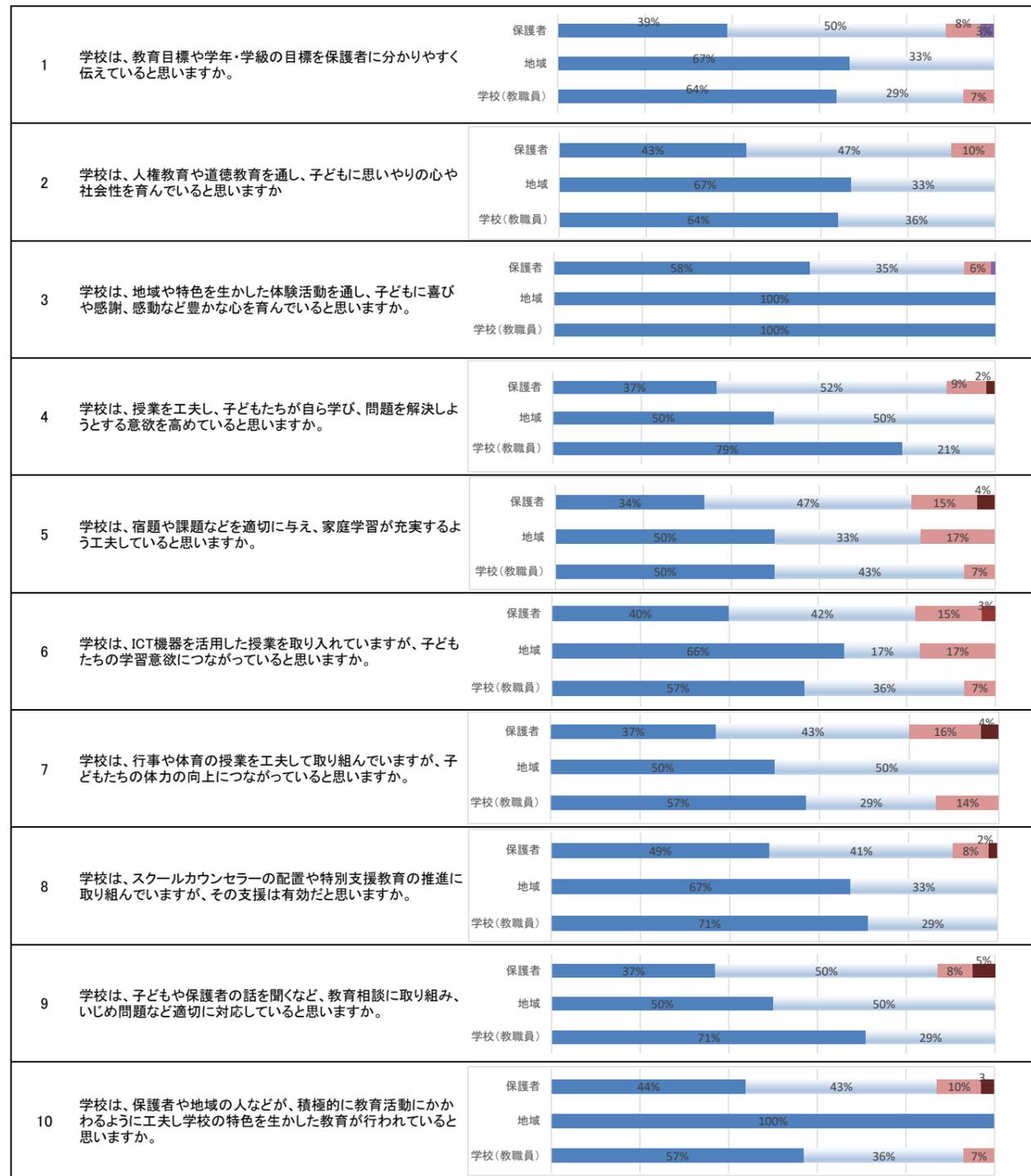


# 令和7年度 千代田区立お茶の水小学校 学校評価アンケート結果

■とても思う ■まあまあ思う ■あまり思わない ■思わない



## 【考察1】

- ・全体に肯定的な意見が多い。特にQ2「人権・道徳教育」、Q3「体験活動の充実」が高評価であった。
- ・引き続き、東京都人権尊重教育推進校としての取組を推進するとともに、地域と連携した特色ある教育活動を充実させていく。
- ・Q5「家庭学習の充実」、Q6「ICT機器を活用した授業」、Q7「体力向上」、Q9「教育相談・いじめ対応」については十分とは言えない。
- ・「家庭学習の充実」については、タブレット端末を活用したドリル学習や動画解説の視聴等により児童の実態に応じた課題に取り組めるようにする。また、自主学習や探究的な学習の機会を設定することで、家庭学習の質を高め、達成感の向上につなげる。
- ・「ICT機器を活用した授業」については、思考の可視化や協働学習、自己評価の場面でICT機器を効果的に活用し、指導者が意図的・計画的に授業を構成する。また、ドリル学習アプリ等を用いて習熟度に応じた課題の提供や学習ログから児童のつまずきを把握して補充指導につなげる。
- ・「体力の向上」については、体力・運動能力調査の結果を踏まえ、運動への意欲の向上や体力・運動能力向上策に取り組む。さらに、順番待ちを短縮する工夫や同時に活動できる場面を増やすなど、運動量を十分に確保できる授業展開を工夫し、体育授業の質の向上を図る。
- ・「教育相談・いじめ対応」については、本校および千代田区の取組を学校だよりやホームページで紹介するなど児童や保護者が相談しやすい環境を整える。また、援助希求(正しいSOSの出し方)の重要性を、日常の教育活動を通して指導し、困難の克服やストレスへの対処能力の向上を図る。

## 【考察2】

- ・Q21「通信機器を使用するルールを守ることができている」については十分とは言えない。
- ・ちよだスマートスクールの日や保護者会の機会を活用し、通信機器に関する事項について、家庭との連携・共通理解の構築を図る。
- ・タブレットレベルアップシートを用いて、技能面・モラル面を総合的に把握し、メディアリテラシーの向上を促す。

◎自由記述では保護者の皆様から多様なご意見やご要望をいただきました。これらの声を踏まえ、今年度の教育活動を振り返り、今後の改善につなげてまいります。引き続き、本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。